

自然保育「ネイチャーウォーク」

秋の森であそぼう

畫間 初枝（四街道市）

日 時：2025年10月9日（木）9:30～11:00

天候：曇り

場 所：八千代台北こどもの森

参加者：ChaCha Children Yachiyo 5歳児 25名 保育士 3名

担当指導員：小川 渡辺幸 畫間

台風 22 号の影響で朝から強い風。森の中は多少、風は和らいでいましたが、落枝を確認、安全なところで子ども達を待ちました。ルイボス、ジャスミン、ウーロンの 3 グループの子どもたちが到着、森は一気ににぎやかになりました。

初めに、森遊びの約束、続いて葉っぱの役割についてのお話、最後にみんなで元気よく体操をして森遊びが始まりました。秋と言っても 10 月初旬。今年は猛暑が長く続いたこともありますが、ようやく涼しくなり 森遊びには絶好の日和でした。心配していた木の実もクヌギやコナラ、クリ、シデの実がたくさん落ちて森遊びには十分でした。

初めは「秋の森の宝さがし」。宝物のリストは、「落ち葉」「どんぐりなどの木の実」など6つ、公園を一巡してそれらを見つける遊びです。クリの木の下でヤマグリの実としいなを見つけ、とげとげしたイガは気をつけながら袋の中へ…。モコモコしたクマシデの実がぶら下がり、ムクゲのピンクの花、キンカンの実、ビワの大きな葉っぱなど次々に拾い集めて、いつのまにか袋の中はいっぱいになりました。宝さがしをしながら、目線の低い子どもたちは、スズメガの幼虫、オンブバッタ、ミミズなどの生き物にくぎ付け、あっという間に時間が過ぎていきました。急ぎ足で戻り、拾い集めた宝ものを容器に詰めるとすてきな秋の宝箱が出来上がりました。お気に入りを見せたり、比べたりした後は大切に持ち帰ることにしました。

次は、森の動物の冬支度「ドングリかくし」。冬に備えて、秋のうちに隠しておいたドングリを動物たちが見つける遊びです。初めに絵本「どんぐり」の読み聞かせ。隠すものはドングリに見立てたマツボックリです。リス・ネズミ・カケスのお面をつけると動物になった気分でマツボックリ隠しに散っていきました。木の根元や壅み、落ち葉で隠したり、地面を掘って埋めたり、思い思いにマツボックリ隠しました。みんなで「どんぐり体操」をして遊んでいるうちに季節は秋から冬へ…。いよいよ隠したマツボックリを探しに行くことになりました。たくさん見つけた子、見つけられなくてどうしようと心配そうな子…探したマツボックリを数えると 38 個、40 個隠したことから見つけられなかつた木の実はどうなるのかな」と投げかけました。「ほかの動物が食べる。芽が出てくる。芽が出たドングリの木が大きくなつて、またドングリをつける…」森の循環に少し触れました。

最後に子どもたちから一斉に「楽しかった」という声が上がりました。特にマツボックリを隠したり、見つけたりする活動は、ワクワク感があり大いに盛り上がりしました。次回 1 月、また一緒に遊ぶことを約束して、子どもたちを見送りました。



黄色い実、「たからもの探し」

壅みにドングリ、だれかな？

ドングリ体操